

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	小林 貴彦
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 経常的経費 <input type="checkbox"/> 内線	3522
事務事業名	8945 街なみ施設管理事業	
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課	
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費
	事業	020000 街なみ施設管理事業
事業目的		事業概要・効果
ふれあい館まゆぐらでは、県内外からの観光客や住民同士の交流が促進される。ふれあい館しらふじは、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいや交流を創出するため民間活用を行う。		街なみ環境整備事業で整備したまゆぐらを地域のまちづくりの推進協議会の団体に管理を一部委託し、観光客や市民、住民同士の交流を図る。 また、同じく街なみ環境整備事業で整備したしらふじについては民間活用により、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいを創出する事業を行う。

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等	ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等	ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等	ふれあい館まゆぐらの施設管理、企画展の開催等 しらふじの有効活用を図るための民間活用

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		2,283	2,444
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	600
一般財源		2,283	1,844
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,453.0	1,453.0
	嘱託職員	848.7	848.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,301.7	2,301.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,584.7	4,745.7

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	744	消耗品費49、燃料費83、食糧費26、印刷製本費0、光熱水費311、修繕料275
13節 委託費	1,303	施設管理業務委託料1,251、シルバー人材センター委託料52
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	236	電話73、手数料147、清掃用具借上料16

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,379	消耗品費65、燃料費80、食糧費50、印刷製本費48、光熱水費248、修繕料88
12節 委託費	971	施設管理業務委託料911、シルバー人材センター委託料60
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	94	電話料48、手数料29、清掃用具借上料17

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	歴史的建造物の保存活用に有益な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	歴史的建造物の活用により市民及び観光客に喜ばれている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業費の縮減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

ふれあい館しらふじについては民間活用により、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいを創出するため、事業者を募集しプロポーザルによる選定を行い活用事業者を決定した。まちなみ環境整備事業で整備した施設であるため、県を通じ、国交省へ「住宅局所管補助事業等に係る補助対象財産処分について」の手続きを行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>「しらふじ」では活用事業者が決まり、地域の活性化、観光客の誘致など新たな賑わいや交流を創出することが期待できる。</p>		<p>「しらふじ」が民間団体への賃貸となり、「まゆぐら」について、地元団体に管理をお願いしながら活用をしていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	